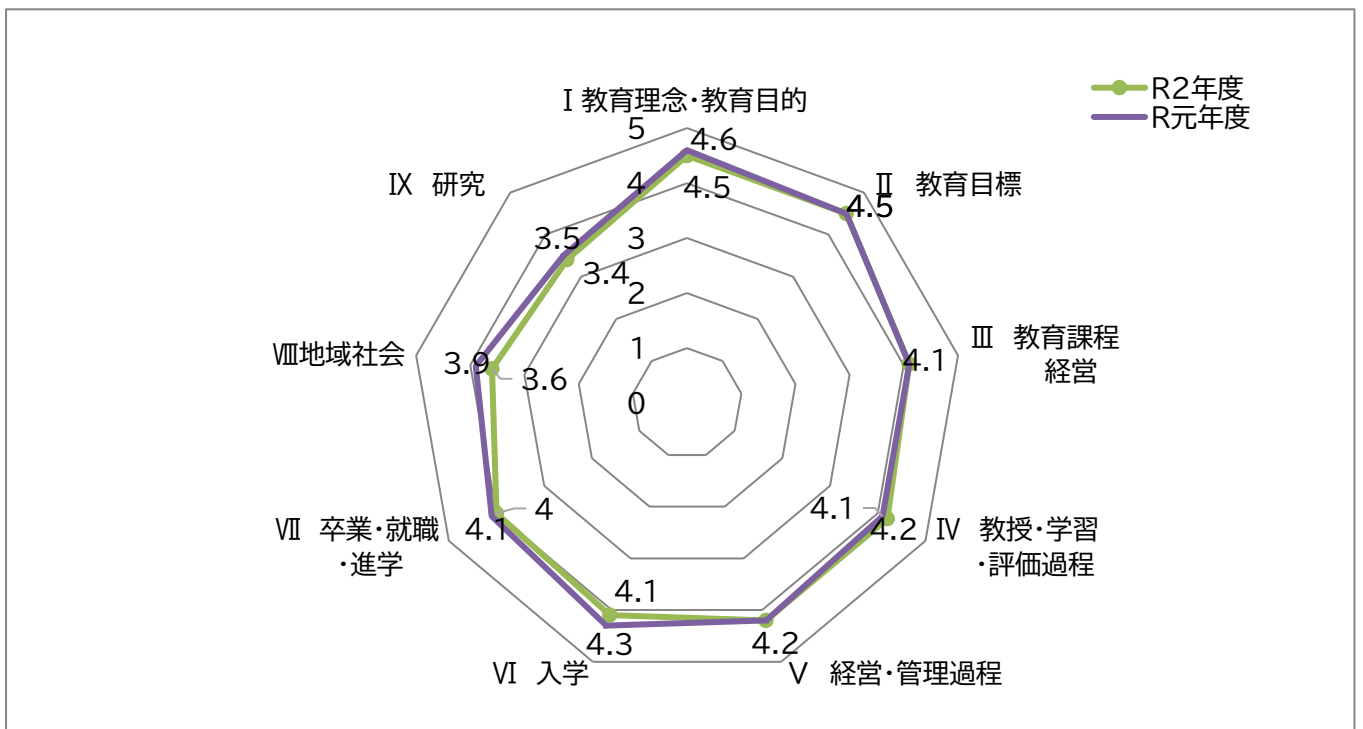


令和 2 年度土浦看護専門学校の学校評価

土浦看護専門学校の教育理念・教育目的は、「徳育」を基盤とし、地域に根差して活躍できる心豊かな質の高い看護師育成を目指しています。この教育理念に基づく教育水準の維持・向上を図るため、平成 26 年度に第 1 回卒業生を出したことを機に、学校運営評価を実施しています。

評価は「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」を基に、9 領域 109 項目で構成され、5「非常に当てはまる」、4「当てはまる」、3「どちらともいえない」、2「当てはまらない」、1「非常に当てはまらない」の 5 段階で評価しました。

令和 2 年度の学校評価は以下の通りでした。



令和 2 年度の学校評価は「VIII地域社会」「IX研究」以外で 4.0 以上の結果となりましたが、昨年度と比べると「VI入学」「VIII地域社会」で低下が目立ちました。この結果は、新型コロナウイルス感染症が影響したと考えます。

「VI入学」は、コロナ禍において、学生募集活動が活発に行なえず、かつ、受験者数の減少があり、入学希望者の開拓への取組みに不十分さを感じた結果と考えます。

「VIII地域社会」は、感染対策のため、課外活動、学校行事の中止を余儀なくされた影響と考えます。文部科学省委託事業「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」の「学び直し講座による潜在看護師の復職支援モデル事業」が終了し、成果物の活用法の検討、附帯事業の介護職員初任者研修（年 2 回開催）の継続など、土浦看護専門学校が地域社会とつながり、共に発展できるような活動を今後も行っていきたいと考えています。

また、「I 教育理念・教育目的」「VII卒業・就職・進学」の低下は、指定規則改正に伴うカリキュラムの評価・改正作業が影響したと考えます。この作業において、自校の教育活動を客観的に評価したことによって、教育課程への意識が高まった成果と考えます。

令和2年度 土浦学校関係者評価結果

評価項目		評価の概要
I	教育理念 教育目的	教職員が教育理念・教育目的に込められた意味を共有し、人材育成のために活動していることが評価できる。「徳育」という理念のもと、人間的な成長を促している部分が評価できる。卒業時に期待する学生像と、そもそもの教育理念・教育目的にズレが生じないように取り組む視点は重要だと感じた。
II	教育目標	教職員が教育目標を常に意識し活動していることが自己評価にも表れており、評価できる。教育理念との一貫性があり評価できる。
III	教育課程経営	「単位履修とその制約」の修正は、特に学生の十分な理解を促すものとなるよう配慮すべきと感じる。新型コロナウイルス感染拡大の状況下においても、オンライン授業を行うなど工夫がなされている。
IV	教授・学習 評価・過程	カリキュラムや授業の内容の検討を行い、学生の理解が進化するよう指導していることが評価できる。教育目標達成のため、統一された授業評価ができています。授業改善について、担当教員にとどまらず学校全体で評価に取り組む姿勢は効果につながると感じる。
V	経営・管理過程	コロナ禍の中、学生の学習の機会を極力減らさない努力・管理ができています。
VI	入学	オープンキャンパスや説明会、イベントなどを今の状況でも積極的に企画し実施していることが評価できる。学生募集が難しい中、定員近くの人数を確保できていることは評価できる。入学者選抜の妥当性については「学生の質」と「財政基盤の確保」の両面から分析・検証する必要があると感じる。
VII	卒業・就職・進学	卒業生のフォローを継続して行っていることが評価できる。国試対策が計画的になされ、合格に繋がり多方面での就職が可能となっている。卒業生の就職先の評価把握は3年間の教育効果を知り、教育内容をより良いものにするためにも早く実施すべき。
VIII	地域社会	感染対策の為、課外活動の学校行事の縮小・中止が相次ぎ、十分な地域社会への貢献活動ができなかった。球根配りなど、近隣地域との積極的な交流が評価できる。学び直し講座や、初任者講習の実施は、「地域と共に発展」という意識を教職員間で高めるためにも必要。
IX	研究	新型コロナ感染の影響で教員の研修や学会への参加が中々かなわず、今後に期待したい。

